

令和 7 年 4 月 15 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和7年度	
会 社 名	猿田建設株式会社	
住 所	〒399-8205 長野県安曇野市豊科5861番地2	
代表者名	代表取締役 猿田 真由美	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
担当部署	土木部	
担当者名	松田 喜代美	
連 絡 先	T E L	026-72-3447
	F A X	0263-72-8040
	電子メールアドレス	doboku1@saruta-kensetsu.com
ホームページアドレス	'http://www.saruta-kensetsu.com	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

全ての作業、行動において、ゆとりを持って向き合い、先を見通す力、想像力、発想力を養い高める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	7 年度目標値	6 年度実績値	5 年度実績値	4 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	1920	790	1,900	1,300
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	1900	790	1,850	1,300
売上高の推移 (円)	570,000,000	160,000,000	280,000,000	210,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ① 伐採の仕事が毎年あるので、チップにして園路等に撒くことで排出量が減量できると思う。
- ② 現場の仮設の材料は、丁寧に扱い、リユースする。
- ③ 現場の環境に慣れたり、忙しくなってくると、安易に廃棄しようとする気持ちが出てくるものなので、常に意識するよう、気になったことはその場で徹底させるよう努める。
- ④ 引き続き余剰廃棄物を出さないよう、購入品の数量把握を正確に行い、他現場との共有も選択肢の一つとする。
- ⑤ 引き続き道具は丁寧に扱い修理、メンテナンスを怠らないよう徹底する。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
 - ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
 - ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
 - ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
 - ・従業員教育（研修）計画
 - ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
 - ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
 - ・不適正処理を発見した場合の協力体制
 - ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
 - ・独自に取り組む事項
- 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	7年度目標値	6年度実績値	5年度実績値	4年度実績値
路盤材	96	95	90	90
コンクリート二次製品	35	30	10	50
全 体				